

原町田中央通り

WS

ニュース vol.1

原町田中央通りの未来を考えよう

主催：町田市 協力：町田市中心市街地活性化協議会
(第1回ワークショップのテーマ)

原町田中央通り、さらには町田駅周辺エリア全体の
価値を高めていくためのビジョンを考えよう！

楽しく回遊できる「町田らしい商店街」の実現に向けて、中心市街地のメインストリートの一つである原町田中央通りを対象に、「通りでこんな風に過ごしたい」、「こんなことができれば良いな」などのアイデアを話し合い、みんなにとって良い通りの未来を描くために、2019年6月25日(火) 18:30~20:00 健康福祉会館4階講習室にて、第1回ワークショップを開催しました。



第1回ワークショップの概要

はじめに、中心市街地活性化協議会の大家会長よりご挨拶をいただき、町田市からワークショップの趣旨説明を行いました。次に、東京工業大学の真野洋介先生から「今年度のゴールの共有」についてのお話、都市設計家の小野寺康先生から「通りの整備に向けた課題と事例紹介」のお話をいただきました。

それらを踏まえて、グループワークを行い、キックオフイベント(2019年3月)で頂いた「現状の問題点・課題」についてのご意見を基に、まず始めに、町田駅とその周辺のエリア全体の中での「原町田中央通り」の位置づけを確認しました。その上で、「原町田中央通り」の価値を上げ、さらにはそのエリア全体の価値を上げていくための方向性やアイデアについて話し合いました。

第1回ワークショップでの意見

A 班

- ・原町田中央通りに人通りが多いが、溜まらず通り抜けてしまう人が多い＞滞留時間を延ばすことが必要
- ・雑多ではあるが、歩きにくいわけではない
- ・ちょっとした時間つぶしや、小休憩のできる場所がない＞ベンチなど、お年寄りが休憩できる場所を作してほしい
- ・原町田大通りがまちを分断している＞歩道の有効活用、通りを公園として整備してはどうか
- ・様々な催しの開催や場を作り、様々な目的の人を包括できる街へ
- ・空間の整備だけでなく、何かしらの仕掛け、マネジメントの仕組みが必要
- ・まちの人も参加してまちづくりを進めるべき

B 班

- ・集まったり、勉強できたり学生が安心して過ごせる場所があると良い
- ・原町田中央通りは快適な歩行空間の実現のため車両規制や荷捌き対策が必要
- ・原町田大通りは歩行者通行量が少ないため自転車や新たなモビリティがあってもよい
- ・文学館通りあたりで車ででの送迎が出来るが良い
- ・町田ならではの個店がある
- ・目的施設が少ない＞芹ヶ谷公園など、目的施設の魅力をあげることが必要
- ・原町田中央通りは、町田駅周辺全体を横に結ぶ役割がある
- ・歩行者が主役となる通り自体が広場になるような通りにしたい

C+D 班

- ・原町田中央通りは駅前よりも人通りが多く、周辺のスポットに向かうハブ的な機能を持つ立地
- ・セットバック空間を使って、休憩できるぽっぽ町田の前の広場のような空間が増えればよい
- ・芹ヶ谷公園へのアクセスルートがいくつかある中で特に安心して歩きやすい道を選んで、環境整備をしてほしい
- ・全体の交通計画を見直す必要がある＞通行止めにしてしまうと不便なので、時間規制や許可証の発行など、きめ細かい交通マネジメントが必要
- ・通りとその沿道だけでなく、一本入った路地の舗装や誘導サインなどの整備が必要
- ・何気なく歩いていたらいつの間にか公園に来てしまったかのような、無理なく、自然体で、町田らしさを表現する通り

C+E 班

- ・一日の通行量が多い
- ・時間帯によって様子が変化するのが通りの特徴
- ・ゆったり過ごすことのできる空間
- ・歩きやすい空間
- ・セットバック空間を滞留空間として活用できるとよい
- ・通りのいくつかの場所に、立ち止まれるスペースがある
- ・チャレンジショップがあれば良いのと思う
- ・通行量が多い通りだから、立ち止まれるスポットがあると魅力的だと思う

第2回：7月24日（水）

第3回：9月26日（木）

第4回：10月28日（月）

第5回：1月28日（火）

※各回 18:30 から町田まちづくり公社
地下会議室で行う予定です。

次の予定

第2回ワークショップでは、無電柱化事業の検討状況や、原町田中央通りの空間像を共有し、通りでの過ごし方、セットバック空間の使い方（日常、イベント時）などについて話し合う予定です。

<お問い合わせ> 町田市地区街づくり課 042-724-4266 メール：mcity4090@city.machida.tokyo.jp